

ホイール, サスペンション

トラブル シューテイング	11-2
ホイール, タイヤ.....	11-3
フロント アクスル ハブ.....	11-4
フロント サスペンション	11-6
フロント, リヤ, ホイール アライメント	11-10
リヤ アクスル ハブ.....	11-11
リヤ, サスペンション.....	11-13



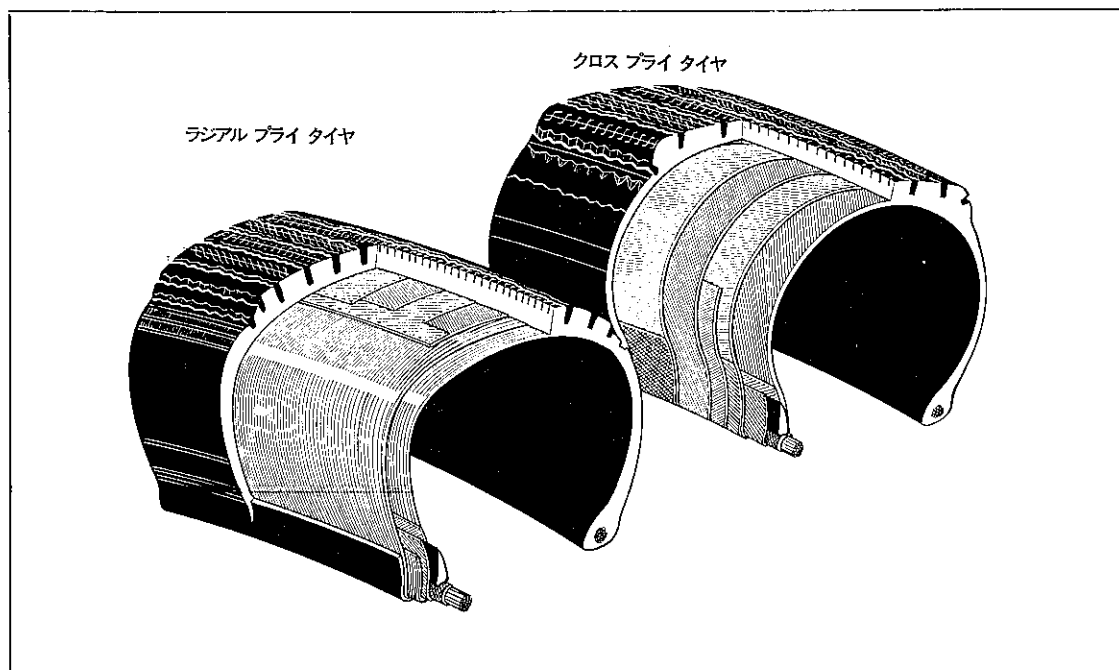
トラブル シューテイング

現 象 お よ び 推 定 原 因	処 置
ステアリング ホイールの操作が重い 1 タイヤ空気圧不適當 2 フロント ホイール アライメント不正 3 各部給油不足 4 ボール ジョイントの固着 5 リンク結合部の固着 6 ステアリング ラック ハウジング調整不良, 損傷	適正圧力に調整 アライメント調整 各部給油 ボール ジョイント交換 交換 調整または交換
ステアリング ホイールが振れる 1 タイヤ空気圧不均等 2 フロントおよびリヤ アライメント不正 3 ベアリング(ホイール用)の調整不良・摩耗 4 ホイールのアンバランス 5 ハブ ナットのゆるみ 6 サスペンション アームの変形・取り付け不良 7 ステアリング ラック ハウジング調整不良 8 ボール ジョイントの摩耗, 破損 9 リンク結合部のゆるみ, 破損 10 各アーム ブッシュの摩耗	適正圧力に調整 アライメント調整 調整または交換 バランス修正または交換 ハブ ナット締め付け 点検修正または交換 点検, 修正 ボール ジョイント交換 修正または交換 交換
ステアリング ホイールが取られる 1 タイヤ空気圧, 不均等 2 フロントおよびリヤ アライメント不正 3 ベアリング(ホイール用)の調整不良, 摩耗 4 スプリングの折損, 衰損 5 ショック アブソーバ作動不良 6 サスペンション アームの変形, 取り付け不良 7 ステアリング ラック ハウジング調整不良	適正圧力に調整 アライメント調整 調整またはベアリング交換 スプリング交換 ショック アブソーバ交換 点検, 修正または交換 調整
タイヤ過度摩耗または偏摩耗 1 タイヤ空気圧不適當 注 高空気圧……トレッド中心部が摩耗 低空気圧……ショルダに近いトレッド部が摩耗 2 フロントおよびリヤ ホイール アライメントの不正 3 ホイールのアンバランス 4 ベアリングの遊び大 (ホイール用) 5 ホイールの振れ大	適正圧力に調整 アライメント調整 バランス修正 調整 ホイール交換
タイヤのきしみ音 1 タイヤのきしみ音 2 ホイール アライメント不正 3 ナツクルまたはサスペンションアームの変形	適正圧力に調整 アライメント調整 修正または交換

現象および推定原因	処 置
ステアリング ホイールに衝撃を感じる 1 フロント ホイール アライメント不正 2 タイヤ空気圧高すぎ 3 ラックとピニオンのかみ合い調整不良 4 ラック ガイド調整不良	アライメント調整 適正圧力に調整 かみ合い調整 調整
ホイールのおどり 1 タイヤ空気圧高過ぎまたは不均等 2 ホイールのアンバランス 3 ショック アブソーバ作動不良 4 スタビライザ衰損, ゴム損傷	適正圧力に調整 修正または交換 ショック アブソーバ交換 交換
騒 音 1 タイヤ空気圧高過ぎ 2 各部潤滑不足 3 ベアリング (ホイール用) 不良 4 ショック アブソーバ不良 5 各締め付け部のゆるみ, 摩耗 6 コイル スプリング折損または衰損 7 コイル スプリングの取り付け不良	適正圧力に調整 各部給油 調整または交換 交換 締め付け, 交換 スプリング交換 修正

ホイール, タイヤ

概 説



第11-1図 一般タイヤとラジアル タイヤの断面

Y5228

取りはずし、取り付け

注

- 1 取りはずし、取り付け作業は、必ずハブ ナット レンチを使用して行なうこと。
- 2 ホイールがマグネシウム合金のため、キズが付きやすいので、取り扱いには特に注意し、塗装のはがれやキズはすぐに補修（クリアラッカー塗装）をして、腐しを防ぐ。

タイヤのローテーション

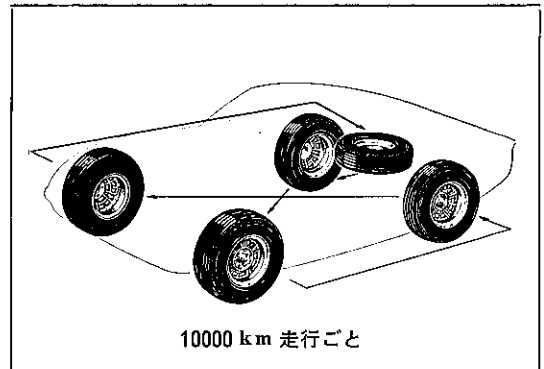
10000 km 走行ごとに、タイヤの取り付け位置を第11-2図のように交換する。

空気圧調整

MF10 型車には、ラジアル プライ タイヤが標準

第11-1表 タイヤ空気圧

使用最高速度 (km/h)	120 以下	200 以下	200 以上 (参考値)
タイヤ空気圧 (kg/cm ²)	1.9	2.2	2.8 (瞬間) 3.2 (長時間)



第11-2図 タイヤのローテーション

Y5229

装備として取り付けられているため、タイヤ空気圧は使用目的によつて異なるので、第11-1表により規定空気圧に調整する。

ホイールのバランス点検修正

MF 型車は、性格上高速で走る機会が多いので、特にホイールのバランスは精密に修正する必要がある。

注

- 1 バランス ウェイトは必ず MF 型車専用のウェイトを使用すること。
- 2 ウェイトは、バランス修正中テープ等で付けて行ない、正確な位置が決定してから専用クリップで取り付ける。

第11-2表 バランス ウェイトの種類

品 番	種 類	重 量(g)
90942-03056	No. 1	8.2
90942-03057	No. 2	16.4
90942-03058	No. 3	26.4
90942-03059	No. 4	36.4
90942-03060	No. 5	46.4
90942-03061	No. 6	56.4

注 ウェイト単体の重量を表す

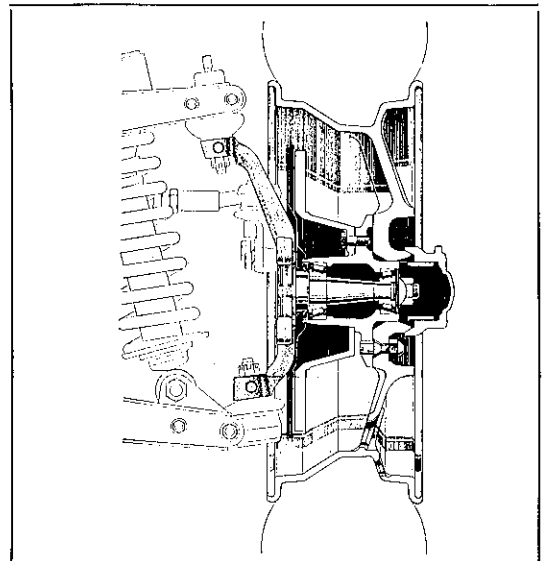
第11-3表 バランス ウェイト (クリップ) の種類

品 番	種 類	重 量(g)
90942-03062	No. 1	1.8
90942-03063	No. 2	3.6

注 クリップ No.1はウェイト No.1のみに使用

フロント アクスル ハブ

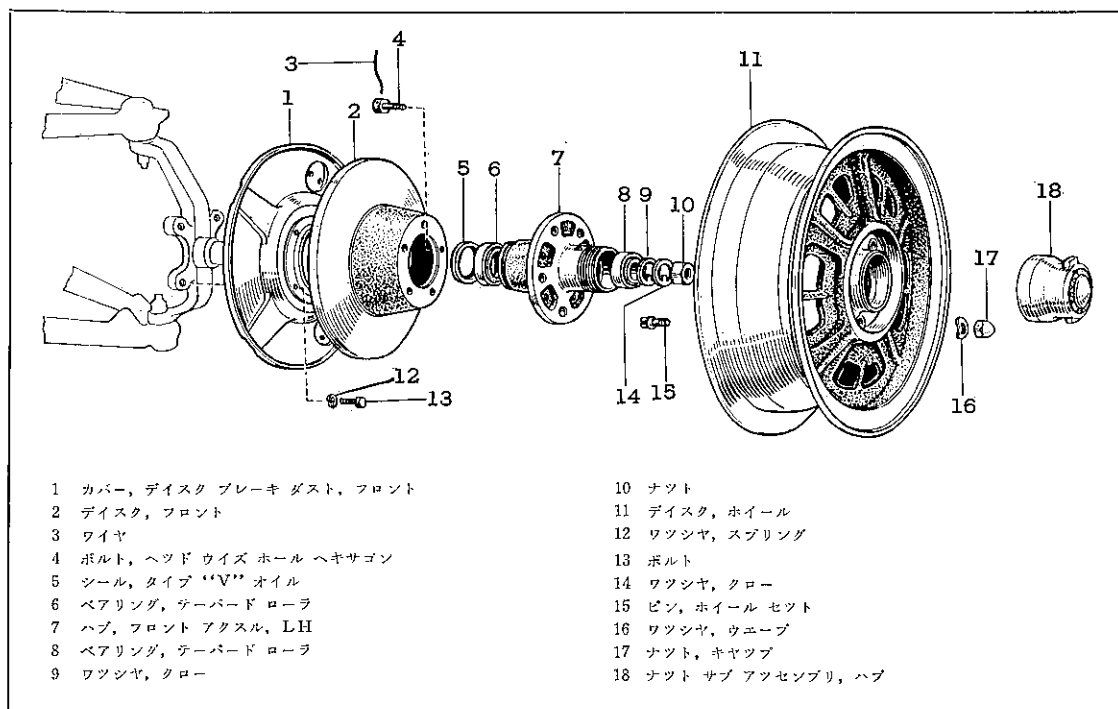
概 説



第11-3図 アクスル ハブ断面

Y5230

構成部品



第11-4図 フロント アクスル ハブ構成部品

Y5231

取りはずし

- 1 ユニオンよりホイール シリンダ チューブを切り離し、ブレーキ キャリパを取りはずす。
- 2 フロント アクスル ハブを、ベアリング、オイル シールとともに取りはずす。

分解

- 1 フロント ディスクよりフロント アクスル ハブを、合わせマークを付けた後切り離す。
 - 2 ベアリング カップを取りはずす。
- 注 インナ側はオイル シールとともに取りはずす。

点検

分解した部品は洗浄点検し、不具合があれば交換する。

- 1 フロント ディスク、ハブ；摩耗、損傷、き裂。
- 2 ベアリング、カップ；損傷、摩耗。
- 3 タイプ "V" オイル シール；損傷、変形、リップ部の衰損、摩耗。

組み付け

分解作業の逆に行なう。

注

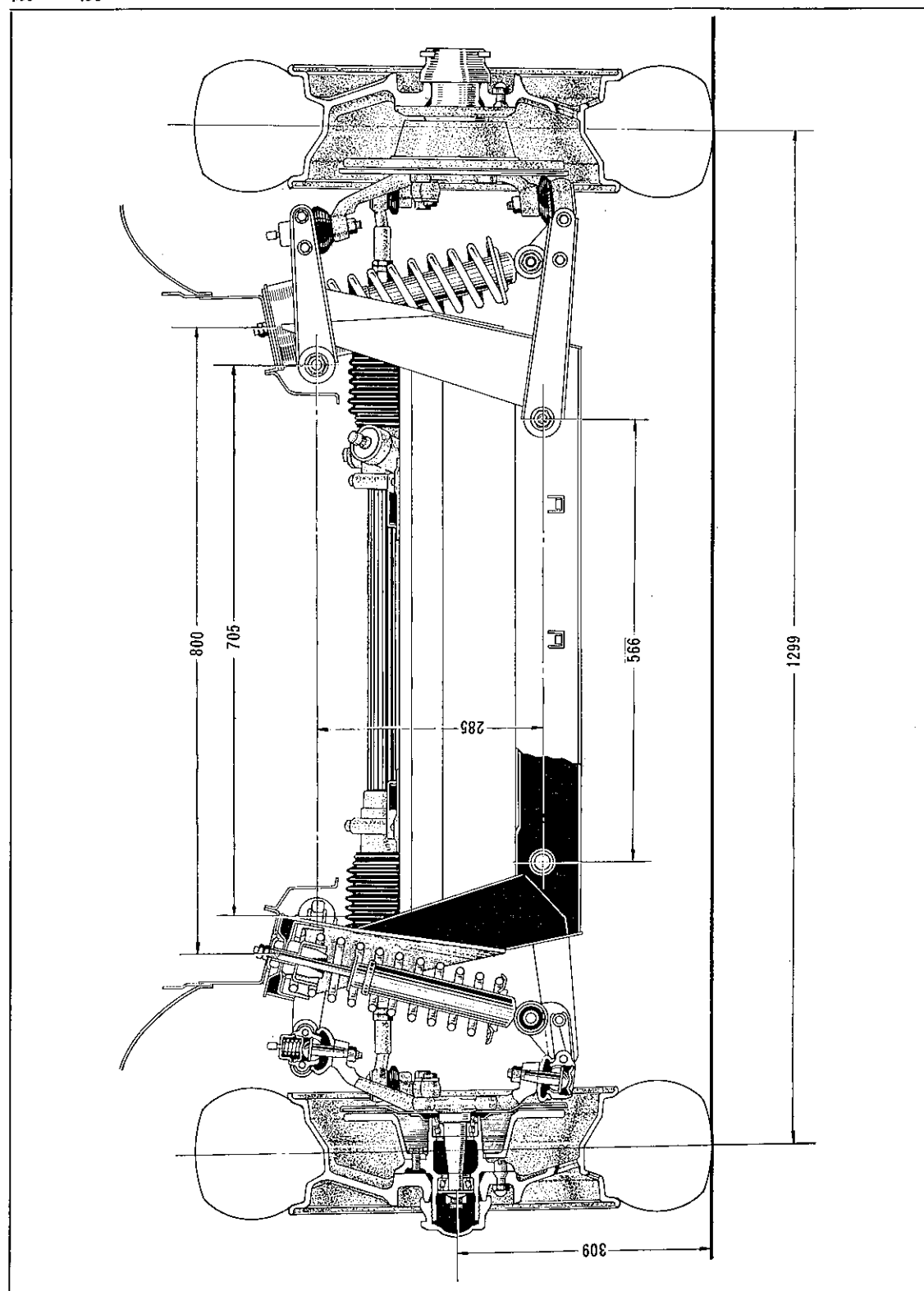
- 1 オイル シールは分解したら必ず交換する。
- 2 ベアリング、およびハブ内壁、オイル シールに、キャツスル MP グリースを充てんする。

取り付け

- 1 ハブをステアリング ナックルに組み付ける。
- 2 ベアリング プレロードの調整。
 - (1) アジャステイング ナットを 4.0m・kg で締め付け、ドラムを 2～3 回往復回転させてベアリングの落ち付きを確認する。
 - (2) フロント ホイール アジャステイング ナットを指で回る程度までゆるめる。
 - (3) ナットにソケット レンチのソケットをはめ手でソケットを締め付け、クロー ワツシヤでロックする。
- 3 ディスクの振れを点検する。
- 4 ブレーキ キャリパを組み付ける。

11

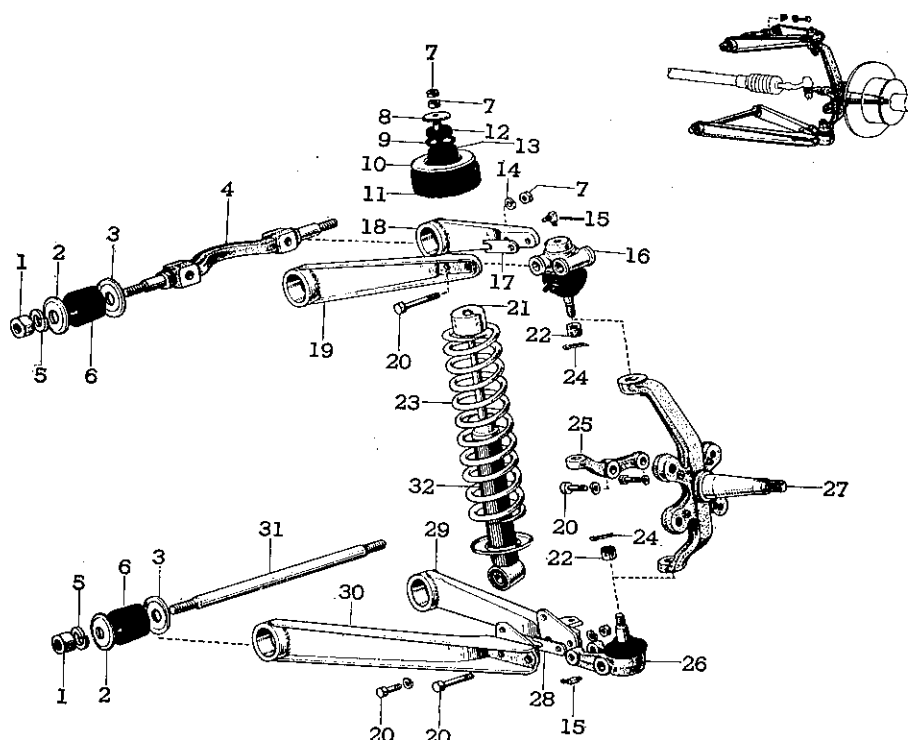
フロント サスペンション 概 説



第11-5図 フロント サスペンション断面

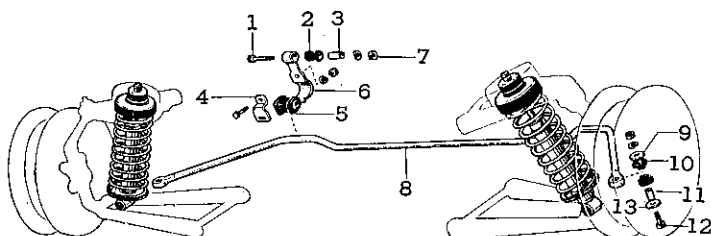
Y5232

構成部品



- 1 ナット
- 2 ワッシャ
- 3 ワッシャ
- 4 シャフト, アツパ アーム フロント
- 5 ワッシャ, スプリング
- 6 プシュ
- 7 ナット
- 8 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 9 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 10 スペーサ, コイル スプリング
- 11 インシュレータ, コイル スプリング
- 12 クッション, ショック アブソーバ
- 13 クッション, ショック アブソーバ
- 14 ワッシャ, スプリング
- 15 フィッティング, グリース
- 16 ジョイント セット, アツパ ボール フロント

- 17 シム, アツパ コントロール アーム No.1
- 18 アーム, アツパ フロント
- 19 アーム, アツパ フロント
- 20 ボルト, ヘキサゴン
- 21 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 22 ナット, キヤツスル
- 23 スプリング, コイル フロント
- 24 ビン, コツタ
- 25 アーム, ステアリング ナツクル, RH
- 26 ジョイント セット, ロワー ボール
- 27 ナツクル, ステアリング
- 28 シム, ロワー アーム
- 29 アーム, ロワー, No.2
- 30 アーム, ロワー, No.1
- 31 シャフト, ロワー, アーム フロント
- 32 アブソーバ, ショック フロント



- 1 ボルト
- 2 クッション, スタビライザ
- 3 カラー
- 4 カバー, スタビライザ リンク
- 5 プシュ, スタビライザ フロント
- 6 リンク, スタビライザ フロント
- 7 ナット

- 8 バー, スタビライザ フロント
- 9 リテーナ, クッション
- 10 クッション, スタビライザ
- 11 カラー
- 12 ボルト
- 13 リテーナ, クッション

第11-6図 フロント サスペンション構成部品

Y5233 G0361

アツパ フロント アーム, アツパ アーム シャフト フロント

取りはずし

- 1 ボルトまたはナット(1), (4), (5), (6)を取りはずし、アツパ フロント アーム(7), (8)を取りはずす。
- 2 ボルト(2), (3)をはずし、アツパ アーム シャフト フロントを取りはずす。

注 キャンバ アジャストシムの枚数をそれぞれ記録しておく。

ブシユ交換

コントロール アーム ブシユ リムーバ アンド
リプレーサ〔09716-62010〕を使用して行なう。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 ブシユの締め付けは、積載状態の車高にして締め付ける。(第11-7図)

- 締め付けトルク (1) (4) 5~7 m·kg
(2) (3) 9~12 m·kg
(5) (6) 2~3 m·kg

アツパ ボール ジョイント

取りはずし

- 1 ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕を使用して、アツパ ボール ジョイントを切り離す。
- 2 アームより、ボール ジョイントを取りはずす。

点 検

摩耗、き裂、およびシール カバー、ブーツ等の傷または破損を点検する。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

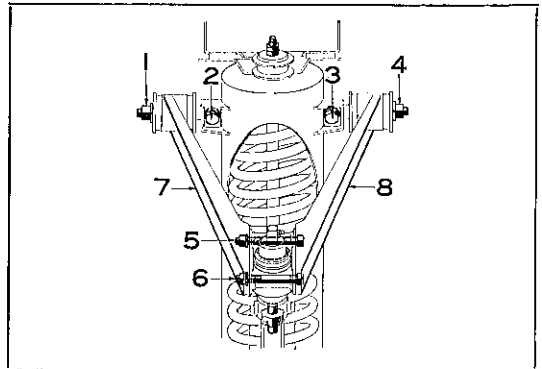
注 ボール ジョイントとステアリング ナツクル

締め付けトルク 4.0~5.5 m·kg

ステアリング ナツクル

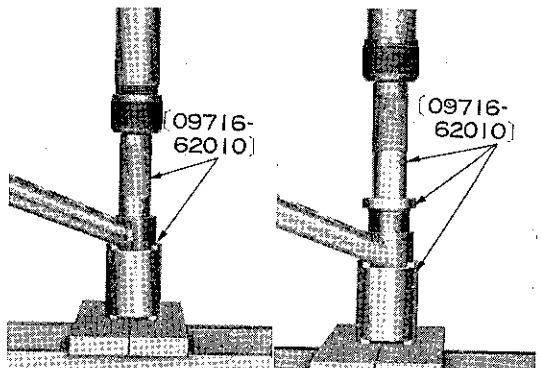
取りはずし

- 1 フロント アクスル ハブを取りはずす (P11-5参照)



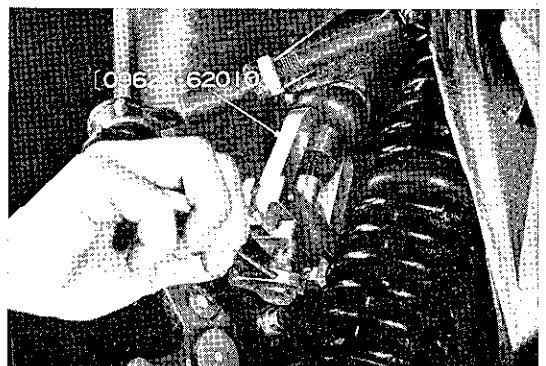
第11-7図 アツパ アーム取りはずし

Y5234



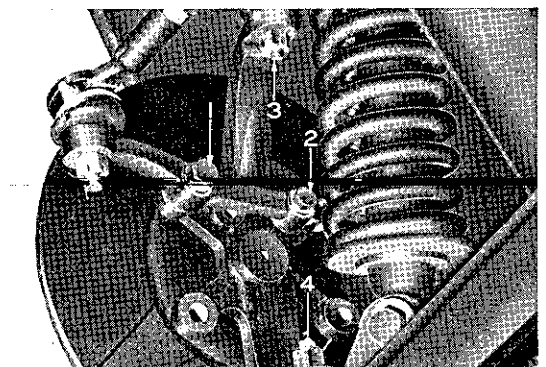
第11-8図 ブシユ取りはずし取り付け

V1840 V1841



第11-9図 ボール ジョイント取りはずし

V1842



第11-10図 ステアリング ナツクル取りはずし

V1843

- 2 ダスト カバーを取りはずし、ステアリング ナツクル アームをボルト(1), (2)を取つて取りはずす。 (第11-10図)
- 3 ボール ジョイント アツパ(3), ロワー(4)を, ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕を使用して切り離し, アームを取りはずす。 (第11-10図)

点 検

- 1 ナツクルのスピンドル付け根部, ネジ部等を

厳密に点検し, き裂その他の不具合があれば交換する。

- 2 点検は, 染色探傷剤または磁気探傷器等を使用して行なう。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 締め付けトルク

第11-10図	(1)	8~10 m·kg
	(2)	5.0~6.5 m·kg
	(3)	4.0~5.5 m·kg
	(4)	11~13 m·kg

ロワー ボール ジョイント

取りはずし

- 1 スタビライザを取りはずす。
- 2 ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕でロワー ボール ジョイントを切り離す。
- 3 ボルト(1), (2)を取り, ボール ジョイントを取りはずす。 (第11-11図)

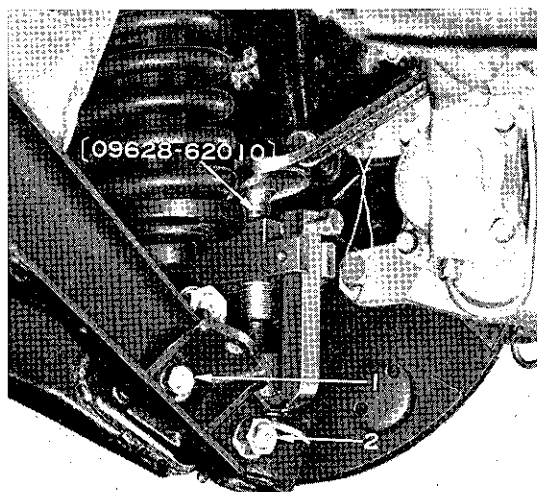
点 検

アツパ ボール ジョイントの項 (P11-8) を参照する。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 締め付けトルク



第11-11図 ボール ジョイント切り離し

V1844

第11-11図	(1)	3.0~4.5 m·kg
	(2)	8.0~11.5 m·kg

コイル スプリング フロント,

シヨツク アブソーバ,

ロワー アーム

取りはずし

- 1 ロワー アームをジャツキ アツプし各アームとアーム シャフトの取り付けナットをゆるめ, シヨツク アブソーバ上部取り付けナットを取りはずす。

第11-4表 コイル スプリング仕様

	フロント	リ ヤ
自 由 長 (mm)	391.5	346
材 料 直 径 (mm)	11.5	12.5
コ イ ル 平 均 直 径 (mm)	73	71
総 巻 き 数	17.0	15.0
有 効 巻 き 数	15.0	13.0
取 り 付 け 長 さ (mm)	270	270
取 り 付 け 荷 重 (kg)	365	399
バ ネ 定 数 (kg/mm)	3.00	5.25

- 2 スタビライザ(1)を取りはずし、シャツキを静かにおろす。
- 3 ボルト(2), (3), (4)を取りはずす。
- 4 ボルト(5)を取りコイル スプリングおよびシヨック アブソーバを取りはずす。
- 5 ナット(6), (7)をはずし、ロワー アームを取りはずす。

点 検

次の項目について点検し、不良のものは交換する。

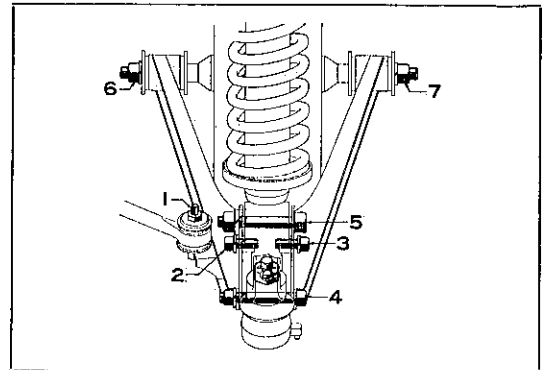
- 1 コイル スプリング; き裂, 曲がり, 衰損
- 2 インシュレータ; き裂, 損傷
- 3 ショック アブソーバ; 機能, 異音, ロッドの曲がり, ブシュの摩耗, 損傷

取り付け

注 ブシュの締め付けは積載状態で行なう。

締め付けトルク

第11-12図	(4)	8.0~11.5m·kg
	(5)	7.5~11.0m·kg
	(6) (7)	3.0~4.5 m·kg



第11-12図 コイル スプリング取りはずし

Y5243

ロワー アーム シャフト フロント

取りはずし

- 1 ロワー アームNo. 1, No.2を取りはずす。

(P11-9 参照)

注 コイル スプリングは取りはずさない。

- 2 シャフトをフロント側に抜きだす。

点 検

ステアリング ナックルの項 (P11-9) 参照。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

フロント, リヤ, ホイール アライメント

注

標準荷重状態で測定する。

キャンバ, キヤスタ

フロント アライメント テスタを用い, 両輪のキャンバを測定する。

基準値にない場合は, キャンバ アジャスト シムで調整を行ない, 微調整は, アツパ アーム シムおよびロワー アームのシムによつて行なう。

トーイン

- 1 フロントはラツク エンド ボールにて調整を行なう。

- 2 リヤはコントロール アーム No.2 のエンドにて行なう。

注 左右のボール エンドおよびコントロール アーム No.2 エンドが同一長さであること。

第11-5表 ホイール アライメント基準値 (標準荷重時)

項 目	フロント	リ ヤ
キ ャ ン バ	+30'	-30'
キ ャ ス タ	2°	0
ト ー イン	2mm	0
キング ピン アングル	7°30'	5°

第11-6表 アツパおよびロワー アーム シム

アツパ アーム用			
品 番	種 類	厚さ(mm)	
フロント	リ ヤ		
48616-88110	48737-88110	No. 1	2.0
48617-88110	48738-88110	No. 2	1.0
48618-88110	48739-88110	No. 3	0.6
ロワー アーム用 (フロントのみ)			
48644-88110	No. 1	2.0	
48645-88110	No. 2	1.0	
48646-88110	No. 3	0.8	

キング ピン アンゲル

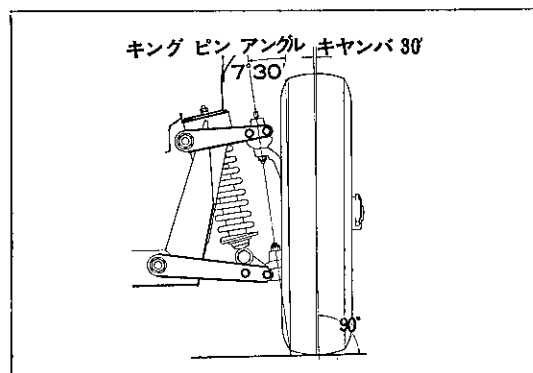
キャンバが正常でも、キング ピン アンゲルが著しく狂っているときは、ステアリング ナックルの曲がりを点検する。

サイド スリツプ測定

トーイン、キャンバ、キャスタ、キング ピン アンゲルを測定した後、サイドスリツプ テスタを用いてサイドスリツプを測定する。

サイドスリツプ 走行距離 1 m につき 3 mm

サイドスリツプが基準値内にならない場合は、フロント アライメントの再調整を行なう。

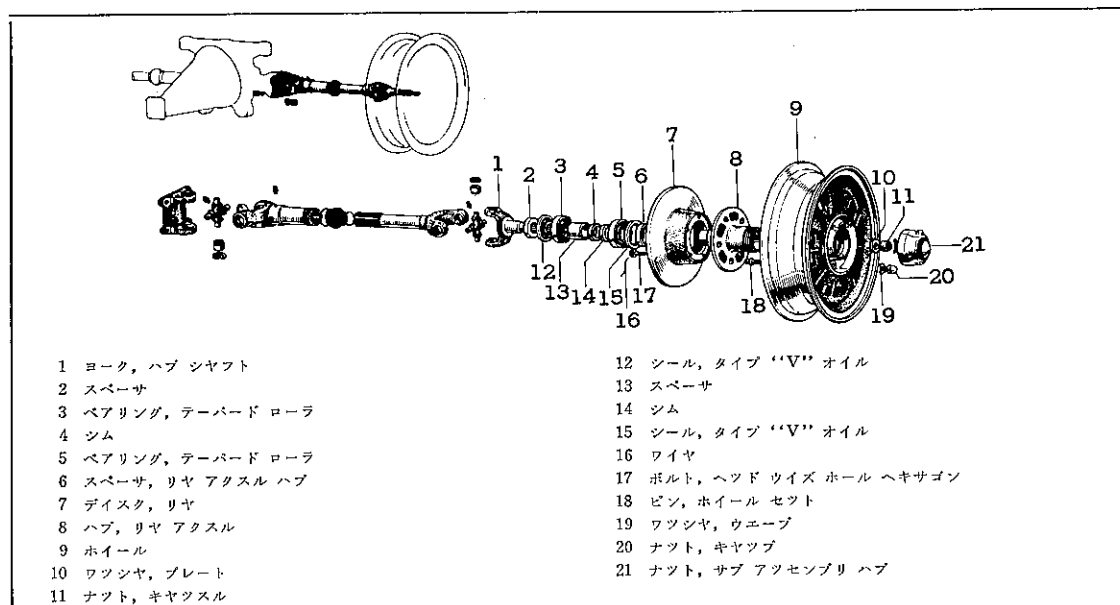


第11-13図 キャンバおよびキング ピン アンゲル

G0362

リヤ アクスル ハブ

構成部品



1 ヨーク、ハブ シャフト

2 スペーサ

3 ベアリング、テーパード ローラ

4 シム

5 ベアリング、テーパード ローラ

6 スペーサ、リヤ アクスル ハブ

7 ディスク、リヤ

8 ハブ、リヤ アクスル

9 ホイール

10 ワッシャ、プレート

11 ナット、キャツスル

12 シール、タイプ “V” オイル

13 スペーサ

14 シム

15 シール、タイプ “V” オイル

16 ワイヤ

17 ボルト、ヘッド ウィズ ホール ヘキサゴン

18 ピン、ホイール セット

19 ワッシャ、ウエーブ

20 ナット、キャツプ

21 ナット、サブ アッセンブリ ハブ

第11-14図 リヤ アクスル ハブ構成部品

G0363

取りはずし

- 1 リヤ アクスル シャフトを取りはずす。

(P10-14) 参照。

- 2 ブレーキ キヤリパを取りはずし、リヤ アクスル ハブを取りはずす。

注 スペーサおよびシムに注意する。

- 3 ベアリングをオイル シール とともに取りはずし、スペーサおよびシムを取り出す。

- 4 ベアリング コーンを取りはずす。

分解、点検、組み付け

分解点検は、フロント ハブの項 (P11-5) を参照する。組み付けは、分解作業の逆に行なう。

注 ディスク締め付けトルク 4.0~5.5 m·kg

第11-7表 シム (ハブ ヨーク ベアリング調整用)

品番	種類	厚さ(mm)
90072-56427	No. 1	2.5
90072-56428	No. 2	2.6
90072-56429	No. 3	2.7
90072-56430	No. 4	2.8
90072-56431	No. 5	2.9
90072-56432	No. 6	3.0

第11-8表 シム (ハブ ヨーク ベ어링調整用)

品 番	種 類	厚 さmm
90072-56423	No. 1	2.52
90072-56424	No. 2	2.54
90072-56425	No. 3	2.56
90072-56426	No. 4	2.58

取り付け

1 リヤ アクスル ハブ ベ어링のプレロード調整

- (1) リヤ アクスルより, ハブ シャフト ヨークを取りはずす。
- (2) ベ어링(1), スペーサ(2), シム(3), ハブ シャフト ヨーク(4)を組み付ける。

(第11-16図)

締め付けトルク 17~19 m・kg

注

- 1 ベ어링にはグリースをうすくぬる。
- 2 オイル シールは組み付けない。

- (3) ベ어링の回転摩さつトルクが 4~10 cm・kg になるよう, スペーサおよびシムを選択する。

注 第11-17図のような方法で行なうと0.7~1.7kgになる。

- (4) スペーサおよびシムを取りはずし, アウタ側のベ어링とオイル シールを取り付ける。

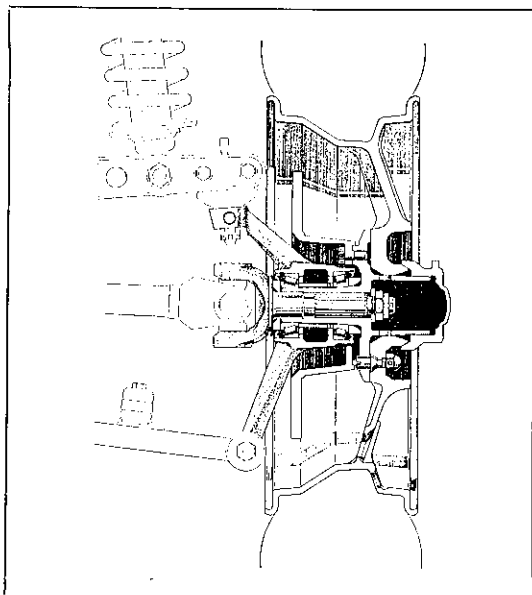
注 ベ어링, アクスル ハブ内にキャツスル MP グリースを充てんする。

- (5) ハブを取り付け, スペーサ, シム, ベ어링を入れて, インナ側のオイル シールをリヤ ナツクル オイル シール リプレーサ〔09529-62010〕を使用して組み付ける。(第11-16図)

- (6) リヤアクスルを取り付けて, リヤ ディスクの振れを点検する (P14-6 参照)

- (7) ブレーキ キャリパを取り付ける。

締め付けトルク 7~9 m・kg

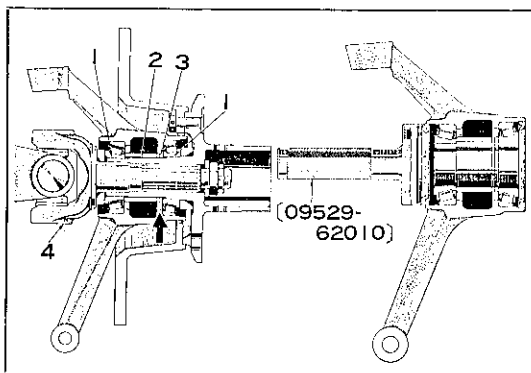


第11-15図 リヤ アクスル ハブ断面図

Y5235

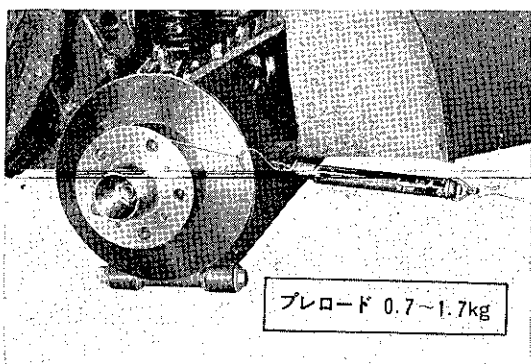
第11-9表 スペーサ (ハブ ヨーク ベ어링調整用)

品 番	種 類	長さ(mm)
90072-56014	No. 1	28.7
90072-56015	No. 2	29.3



第11-16図 スペーサ, シム選択

Y5236 Y5237

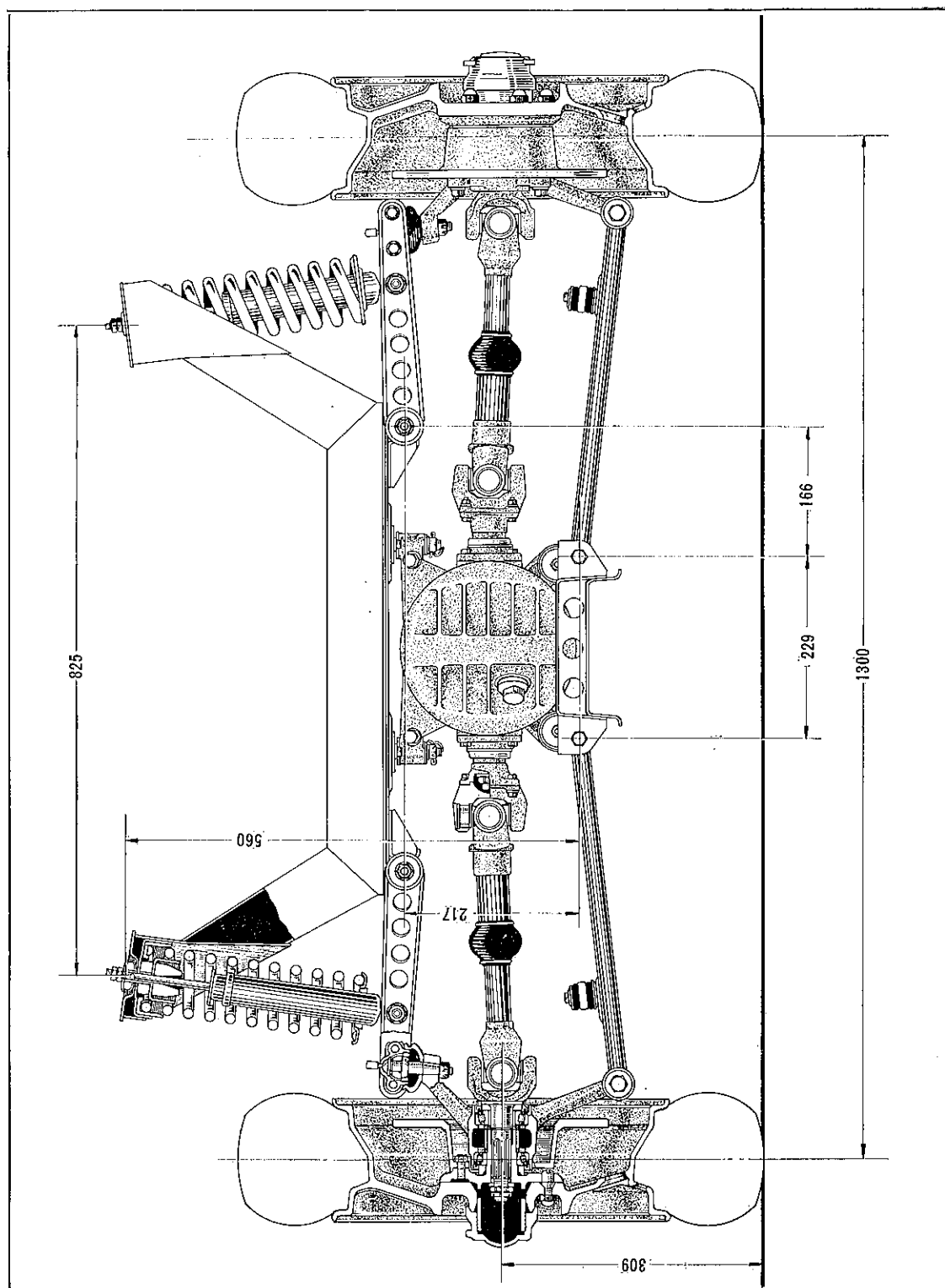


第11-17図 プレロード測定

V1845

リヤ サスペンション

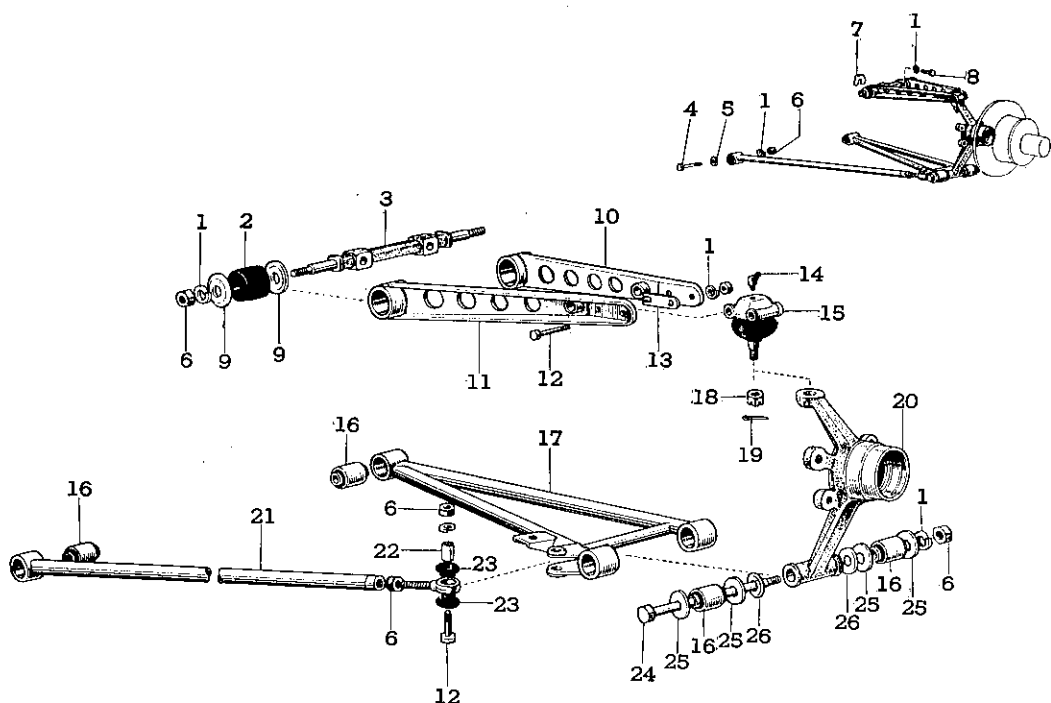
概 説



第11-18図 リヤ サスペンション断面

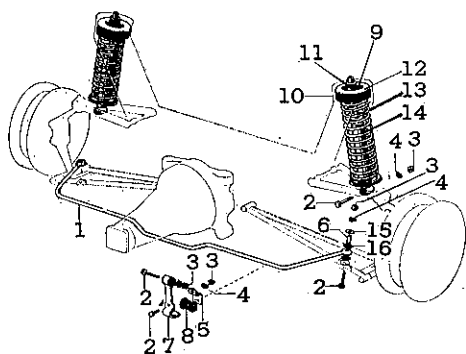
Y5238

構成部品



- 1 ワッシャ, スプリング
- 2 ブッシュ
- 3 シヤフト, アツパ コントロール アーム
- 4 ボルト, ヘキサゴン
- 5 スペーサ
- 6 ナット
- 7 シム, キヤンパ アジャスト
- 8 ボルト
- 9 ワッシャ
- 10 アーム, アツパ コントロール
- 11 アーム, アツパ コントロール
- 12 ボルト
- 13 シム, アツパ コントロール アーム

- 14 フィッティング, グリース
- 15 ジョイント, セット, アツパ ボール リヤ
- 16 ブッシュ, ロワー コントロール アーム
- 17 アーム アツセンブリ, ロワー コントロール, No.1
- 18 ナット, キヤツスル
- 19 ビン, コツタ
- 20 ナツタル, リヤ
- 21 アーム, コントロール, No.2
- 22 カラー
- 23 ブッシュ
- 24 ボルト
- 25 ワッシャ, プレート
- 26 スペーサ



- 1 バー, スタビライザ, リヤ
- 2 ボルト
- 3 ナット
- 4 ワッシャ, スプリング
- 5 カバー, スタビライザ リンク
- 6 カラー
- 7 リンク, スタビライザ リヤ
- 8 ブッシュ, スタビライザ リヤ
- 9 クツシヨン, ショック アブソーバ
- 10 インシュレータ, コイル スプリング
- 11 リテーナ, ショック アブソーバ クツシヨン
- 12 スペーサ, コイル スプリング
- 13 スプリング, コイル, リヤ
- 14 アブソーバ, ショック, リヤ
- 15 リテーナ, クツシヨン
- 16 クツシヨン, スタビライザ

コイル スプリング, シヨツク アブソーバ

取りはずし

- 1 スタンドを、ボデー サイド シルにかう。
- 2 ロワー アームをジャツキ アツプして、シヨツク アブソーバ 上端取り付けナットを取りはずす。
- 3 スタビライザを切り離し、各取り付けナットまたはボルト (1), (2), (3), (4), (5) をゆるめる。
- 4 ジャツキを静かにおろし、ナット (2), (3), (4), (5) を取りはずし ボール ジョイントを切り離す。
- 5 ボルト(6)をはずし、シヨツク アブソーバおよびコイル スプリングを取りはずす。
- 6 スプリング インシュレータおよびスペーサを取りはずす。

点 検

点検はコイル スプリング フロントの項 (P11-9) 参照。

取り付け

- 1 インシュレータおよびスペーサを取り付けて、リヤ スプリング コンプレツサ [09727-62010] を使用して、スプリング、シヨツク アブソーバを組み付ける。

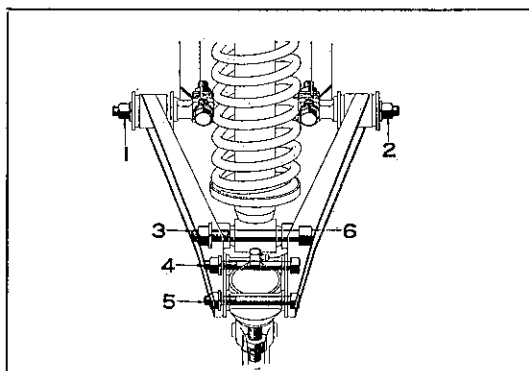
注

- 1 スプリングの中心が、スプリング ハウスの中心にあることを確認する。
- 2 ボール ジョイント、アツパ アームを取り付ける。

締め付けトルク

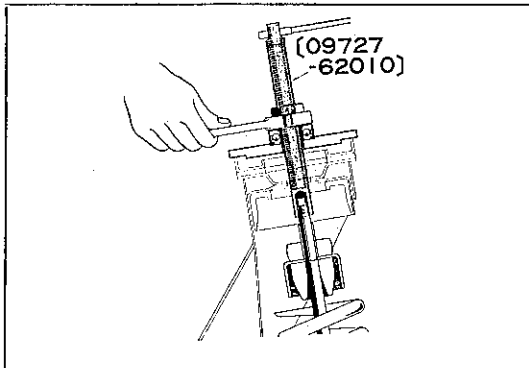
ボール ジョイント	3.0 ~ 4.5 m·kg
アブソーバ下端	7.5 ~ 11.0 m·kg

- 3 ロワー アームをジャツキ アツプして、コンプレツサを取りはずし、アブソーバの上端ナットを締め付ける。
- 4 ロワー アームを標準荷重状態の位置にしてアーム ブシユを締め付ける。
- 5 スタビライザを取り付ける。



第11-20図 各ボルト ナット取りはずし

Y5240



第11-21図 コイル スプリング取り付け

Y4241

アツパ コントロール アーム, コントロール アーム シャフト

取りはずし

- 1 コイル スプリング取りはずしの項 (P11-15) 参照。

注

- 1 シヨツク アブソーバは取りはずさない。
- 2 アツパ アーム リヤとアーム シャフトを一体で取りはずす。
- 3 キャンバ アジャスト シムの枚数に注意する。

ブシユ交換

アーム ブシユ取りはずし組み付けはアツパ フロント アームの項 (P11-8) 参照。

点 検

- 1 アツパ アーム; 曲がり, 損傷, き裂。
- 2 アーム シャフト; 曲がり, 損傷, き裂。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

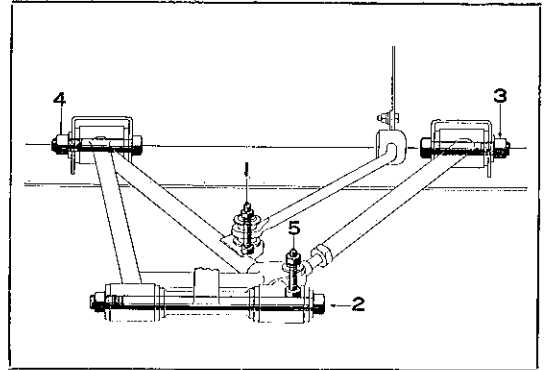
注 アーム シャフトの取り付けは、コントロール アーム リヤを仮付けてから取り付ける。

締め付けトルク 9 ~ 12 m·kg

ロワー コントロール アーム

取りはずし

- 1 リヤ ナツクル下端をジャツキ アップする。
- 2 ボルト(1), (2)を取りはずす。
- 3 ボルト(3), (4)を取り, ロワー コントロール アーム No.1 および No.2 を取りはずす。
- 4 ロワー コントロール アーム エンド No.2 を取りはずし, カラー, プシユ, エンド等を取りはずす。



第11-22図 ロワー アーム取りはずし

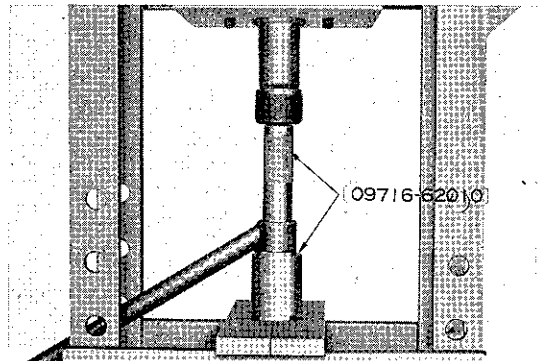
Y5242

プシユ交換

コントロール アーム プシユ リムーバ アンド リプレーサ〔09716-62010〕を使用して行なう。

点 検

- 1 ロワー アーム; 曲がり, 損傷, き裂。
- 2 アーム プシユ; 摩耗, 衰損。
- 3 アーム エンド No.2; カラー, プシユの摩耗, き裂。
- 4 フレームのロワー アーム取り付け部; き裂, 損傷。
- 5 スペーサ; 摩耗, 損傷。



第11-23図 ロワー アーム プシユ交換

Y5242

取り付け

分解作業の逆に行なう。

注

- 1 アーム プシユの締め付けは標準荷重状態の車高にして行なう。

締め付けトルク 7.5~11.0 m·kg

リヤ ナツクル

取りはずし

- 1 リヤ アクスル ハブを取りはずす。(P11-11) 参照。
- 2 スタビライザを切り離す。
- 3 ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕を使用して, ボール ジョイントを切り離す。
- 4 リヤ ナツクル取り付けボルトを取りはずし, リヤ ナツクルを取りはずす。

分解, 点検

- 1 フロント アクスル ハブ取りはずし, および点検の項 (P11-5) 参照。
- 2 リヤ ナツクル; き裂損傷。

取り付け

- 1 リヤ ナツクルをロワー アームに取り付ける。
注 ナツトは仮締めしておく。
- 2 アツパ ボール ジョイント リヤを取り付ける。
注 ロワー アームをジャツキ アップする。
- 3 リヤ アクスル ハブを取り付ける。リヤ アクスル ハブ取り付けの項 (P11-12) 参照。
- 4 スタビライザを取り付ける。
- 5 車両を標準荷重状態にして, ナツクル取り付けボルトを締め付ける。

締め付けトルク 10~15 m·kg